

## ツシマウラボシジミの生息域外保全に関するお知らせ

足立区生物園大温室にて、ツシマウラボシジミの交配作業をおこないます。

ツシマウラボシジミは、日本では長崎県の対馬にのみ生息する開張約 2 cm のシジミチョウで、環境省作成のレッドデータブックでは**絶滅危惧Ⅱ類**にあげられています。本種は近年急激に数を減らしており、現在、「**最も絶滅に近いチョウの一種**」と考えられています。

足立区生物園では、日動水（日本動物園水族館協会）の加盟施設として、環境省と日動水の協定に基づき、生物園の大温室を使った交配試験をはじめとした累代飼育の技術開発など、生息域外保全という形で絶滅を防ぐための活動をおこなっています。



▲ツシマウラボシジミ成虫

その活動の一環として、生物園では 9 月に今シーズン最後の世代となる第 3 化成虫を羽化させ、大温室での交配をおこないます。オス成虫を大温室に放しておき、タイミングをみてメス成虫を近づけるという方法で交配を試みます。作業スペース確保のため温室内の一部区間を閉鎖しての実施になりますが、温室に飛んでいるオス成虫や交配作業の様子を近くでご覧いただくことは可能です。交配作業は予定数に達し次第終了とし、残りの成虫は大温室に放します。

また、交配が完了したメスは蝶飼育室内で採卵し、来年の春に羽化させるための幼虫を育てます。

### \* 大温室での作業予定 \*

実施日程：作業の性質上、具体的な日程は一般には非公表（取材の際はお問い合わせ下さい）

放蝶時間：10 時から 14 時の間

※交配作業期間中は毎日成虫の回収をおこないます。

交配終了後：残った成虫は大温室に放蝶します。

※データ収集のため回収をおこなう場合があります。



◀ 交尾の様子



### ■ 足立区生物園とは

生物園は、自然の生き物たちとの"ふれあいの場"です。"いのち"の営みを続ける生き物たちとの心温まる交流を通じて、生命のすばらしさ、尊さを存分に感じていただけるよう、工夫をこらした展示やイベントを行っています。また、いつでも聞ける解説員による生きものの解説コーナーもあります。そして自然環境の大切さ、自然との"共生"について考えていただくことをめざしています。

### ■ 本件に関するお問合せ先

足立区生物園 担当：金（きん）

〒121-0064 東京都足立区保木間 2-17-1

TEL：03-3884-5577

FAX：03-3884-8996

E-mail：seibutu@adachi.ne.jp

URL：http://www.seibutuen.jp/

情報掲載・取材していただく場合は、ご連絡ください。